

### 3 全体計画の別葉の活用

道徳教育の全体計画においては、道徳の時間だけではなく、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動における指導の内容及び時期を別葉にするなどして示すことが必要とされていますが、別葉はどのように作成・活用すればよいでしょうか。

#### 【ポイント】

- 別葉については、特に様式等が決まっているわけではありませんが、例えば、各教科等における道徳教育に関わる指導の内容及び時期を整理したもの、道徳教育に関わる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるものなどが考えられます。
- 別葉に位置付けられた教育活動について、当該月の部分を取り出して掲示したり、配布したりするなどし、それぞれの教育活動が道徳教育のねらいをもっていることを教師が意識して指導に当たることができるようにしましょう。
- 学校の教育課題や重点、特色ある活動等に関連付けて作成することも、教育活動全体を通して道徳教育を行っていることを明確にするのに効果的です。

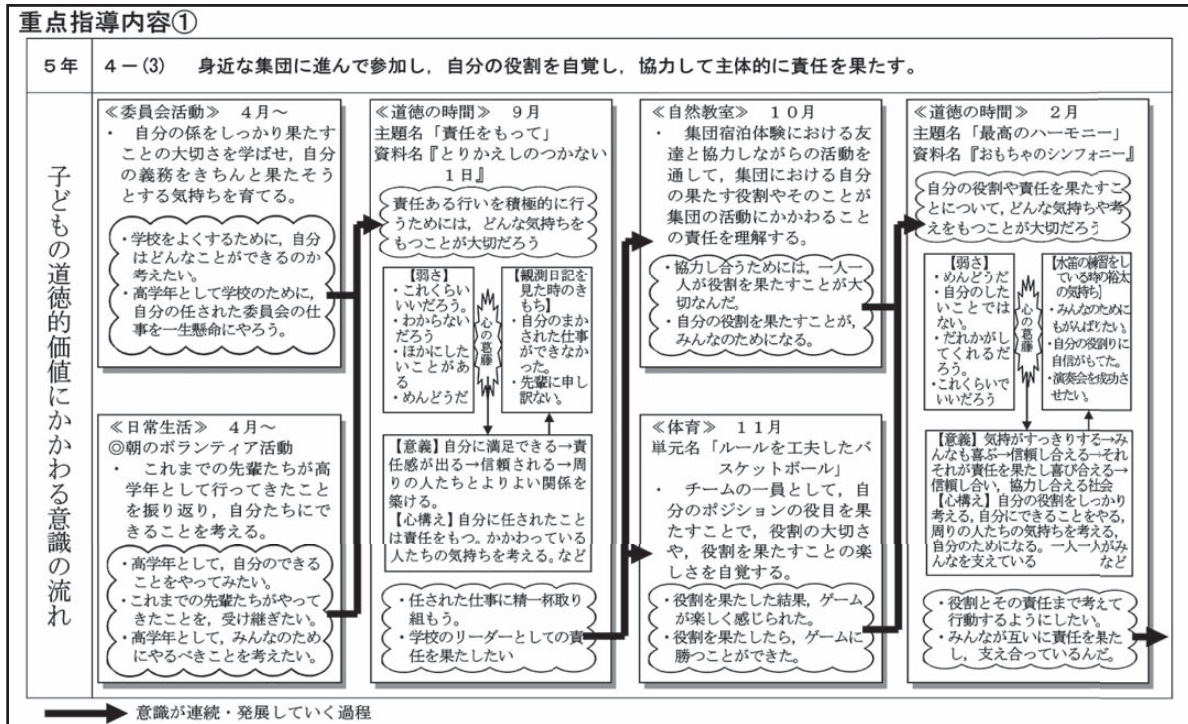
- 1 各教科等の指導や体験活動において、どのように道徳教育を行うかを明確にする別葉は、いつ、どの教科・どの体験活動で、どの内容項目について、考えさせたり、気付かせたりするのかを明確にするための一覧である。

学校の重点とした指導内容を意識できるものにする、また、子どもの意識の変容等を考慮したものにするなど、視点をもって作成することが大切である。

#### 【内容項目に関する各教科での道徳教育を一覧できる別葉の例】

内容	国語	算数	生活	音楽	図画工作	体育	特別活動
1-(1)		日常生活の中から整数を見付け出す(5月)	自分自身の成長を振り返る。(2月)	自分の歌声に注意して歌う(5月)		場の安全に気を付けて運動する	持ち物の整理整頓をしっかりとする(通年)
1-(2)		乗法九九を身に付ける(9月)	自分でできることをしっかりと行う(7月)		好きな色を選んで納得するまで作り直す(6月)	目標をもち鉄棒を使った運動遊びをする(9月)	日常生活での目標を決めて励む(4月)
1-(3)							
1-(4)							
2-(1)			地域の人々に適切な言葉遣いで接する(11月)				あいさつや言葉遣いを適切にする(5月)
2-(2)			幼児の思いに応じて行動する(9月)	感じ取ったことを相手に伝える(9月)	他の人の作品のよいところを探す(11月)	相手のことを考えてストレッチングを行う(5月)	
2-(3)			遊びを工夫し友達と仲よく遊ぶ(2月)	友達と一緒に声を合わせて歌う(6月)	友人と活動しながら想像を広げる(10月)	友達と協力して長なわをする(10月)	友達と仲よく協力する(6月)
2-(4)			通学路の安全を守る人々に関心をもつ(4月)				
3-(1)			動物の生命に直接触れる活動をする(6月)				食と生命とのかわりを考える(9月)
3-(2)	科学的な本の内容を押さえて読む(2月)		身近な自然から四季の変化を楽しむ(6月)		身近な自然物の形などを基につくること(5月)		遠足を通して豊かな自然に触れる(5月)
3-(3)				歌詞の表す情景を想像する(9月)		動物の特徴や様子を考えた表現する(2月)	
4-(1)		十進位取り記数法を基にきまりについて考える(9月)	公共施設を利用から公聴について考える(10月)	音楽的な約束事を守って活動する(10月)		運動の順番やきまりを守って運動をする(通年)	遠足での公共交通の利用の仕方を学ぶ。(5月)
4-(2)			動物の世話をしっかりと行う(10月)				当番の大切さを知りみんなのために働く(6月)
4-(3)			家庭生活で自分でできることを考える(6月)				
4-(4)			学校生活の人々とのかわりを深める(5月)				よりよい学級にするために話し合う(通年)
4-(5)			地域の特色を生かした遊びをする(2月)	わらべうたや遊びうたに親しむ(11月)			

【重点指導内容に関する子どもの意識の流れに着目した別葉の例】



2 実施時期に応じた別葉の提示と活用

作成した別葉を活用して、例えば、当該月の各教科等の取組やそれぞれの取組における道徳教育としてのねらいなどを、月ごとに掲示して確認することにより、道徳教育の積極的な取組を推進することができる。

3 学校の教育課題等との関連させた取組

例えば、生徒指導上の課題を抱える学校では、その対応を意識するあまり、各教育活動で道徳教育を行っているにも関わらず、道徳教育としての視点が意識されにくい場合がある。現在、取り組んでいること等を、以下のように別葉において整理・明示し、全教師が道徳教育としての視点を意識し、見通しをもって指導できるような活用をすることにより、効果的な指導となる。

- ① 生徒指導上の課題と関連させて、道徳教育の重点事項を明確にする。
- ② 道徳教育推進教師を中心に、全教師が関わって全体計画別葉を作成する。
- ③ 重点事項に関連する内容を、いつ、どの教育活動で行うかを別葉によって共通理解し、重点的な指導を行う。
- ④ 道徳教育推進教師が生徒指導主任と連携を図り、各学年・学級での取組や児童生徒の様子を集約し、指導についての評価・改善に生かす。

【当該月の各教科等での取組の掲示】

